第32回（平成28年）
柏流さよなら少年野球大会

優　勝　ミ　ラ　ク　ル　ズ
準優勝　柏　　D　　J　　M
第三位　S　　B　　O　　X
第四位　リトルレジェンス



開催期間　平成２７年１１月～平成２８年２月

主　催　柏流さよなら少年野球大会　運営委員会

後　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社 共同写真企画
　　流　山　ボ　ー　イ　ズ　流山ロータリークラブ
　　朝日スポーツキッズ

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ

第32回（平成28年度）
柏流さよなら少年野球大会

目　次

大会優勝旗及びトロフィー群・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第32回柏流さよなら少年野球・決勝大会 成績表 ・・・・・・・・・ 2

決勝大会概評及び最終日の成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

ベスト4チーム（写真）・・・・・・・・・・・ 5

大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・・ 7

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」・・・・・・・・・・・・・・・ 25
平成28年3月30日　No.257

第32回　柏流さよなら少年野球大会　参加チーム ・・・・・・・・・ 26

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3 ・・・・・・・・・・・・・ 27

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

柏流さよなら少年野球大会　開催要項 ・・・・・・・・・・・・・・・ 29
（平成25年11月一部改正）

柏流さよなら少年野球大会　役員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・ 31
（平成28年1月改選）

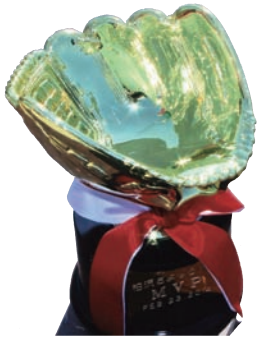
第32回　柏流さよなら少年野球大会　会計報告 ・・・・・・・・・・ 32

※写真提供：株式会社 共同写真企画


柏流さよなら少年野球大
優勝
贈 ダイワマルエス株式会社
主催 柏流さよなら大会運営委員会



第３２回柏流さよなら少年野球
決勝大会 成績表



Hブロック
我孫子 リトルレジェンズ 2

Dブロック
松戸 松飛台メジャーズ 0

Eブロック
流山 流山レイソル 1

Bブロック
流山 ミラクルズ 2

Fブロック
柏 柏DJM 3

Gブロック
柏 フォーセブン 1

Aブロック
印西 印西連合 1

Cブロック
柏 SBOX 2

0
5
2
1
5
1
ミラクルズ

Hブロック
リトルレジェンズ 1

3位決定戦

Cブロック
SBOX 2

☆ ☆ ☆ 決勝大会概評及び最終日の成績 ☆ ☆ ☆

ミラクルズが通算４度目の栄冠に輝く

三位決定戦は壮絶なサドンデスでＳＢＯＸが制す

総数４２チームが８ブロックに分かれてリーグ戦を行い、うちブロック１位チームが決勝大会に進出してトーナメント戦で行われた第３２回柏流さよなら決勝大会は、平成２８年２月７日（日）と１１日（祝日）野田河川敷グランド及び流山ボーイズグランドに於いて開催された。

今年度の決勝大会は、当初は２月６日（土）を初日として、７日（日）、１１日（祝日）の三日間で行われる予定であったが、初日の２月６日が雨で開催不可能となったため、急拠７日と１１日の二日間で行われることとなった。このため初日の２月７日は初戦（準決勝戦）の勝利チームがダブルとなった。

決勝大会を振り返ると、さすがブロックリーグ戦を制したチャンピオン同士の対決とあって、接戦が相次いだ。なかでも流山地区同士で戦った流山レイソル vs ミラクルズ戦、初出場の印西連合と対戦した柏市のＳＢＯＸ戦は、ともに１点を巡る激しい攻防を展開して大熱戦となったが、最終的にはミラクルズとＳＢＯＸが勝利して準決勝戦に進出した。

また、柏ＤＪＭ vs フォーセブンの柏地区同士の対決は、両チームともに市内では名門の強豪チームとして知名度が高く、それだけにハイレベルの接戦となった。勝負は柏ＤＪＭの実力が僅かに勝って、先に行われた東葛地区親睦卒業記念大会のチャンピオンチーム・フォーセブンに勝利した。

さらに、我孫子市と松戸市から唯一決勝大会に駒を進めたリトルレジェンスと松飛台メジャーズの一戦も、スコアこそ２－０でリトルレジェンスが完封勝利したものの、この２チームの実力は全く互角での好試合だった。

かくして初戦の勝利チーム同士による準決勝戦は、リトルレジェンス vs ミラクルズ、柏ＤＪＭ vs ＳＢＯＸの対決となって、栄冠を目指しての登竜門である前哨戦が行われた。この２試合では、ミラクルズがリトルレジェンスに圧勝したのに対し、柏ＤＪＭとＳＢＯＸの対戦は、１点を巡って最後まで手に汗を握る大接戦となった。その結果、柏ＤＪＭが勝利して決勝戦に進出した。

決勝戦と三位決定戦は２月１１日流山ボーイズグランドのＡＢ面に於いて同時に開催した。このうちＢ面で行われたＳＢＯＸとリトルレジェンスの三位決定戦は、両チーム１点ずつ取り合った後はともに譲らず、７回を終了しても勝負がつかなかった。このため大会規定により一死満塁から攻撃のサドンデス試合となったが、ＳＢＯＸがスクイズで決勝点を挙げて三位を確保した。

決勝戦のミラクルズ vs 柏ＤＪＭ戦は、初回からミラクルズの勢いが勝って、スクイズとタイムリー安打で２点を先取して試合の主導権を握った。そして、続く２回と３回にも追加点を奪って序盤の３回までに、５点を挙げて絶対有利の展開に持込んだ。柏ＤＪＭは４回に１点を挽

回したものの結局反撃はここまでで、６回終了時点で時間切れとなり無念のゲームセットとなった。

優勝したミラクルズは先発Ｐ秋山の好投がとくに光るが、攻撃面でもスクイズをはじめ、チャンスにタイムリー安打が出るなど、攻守両面にわたってのバランスの良さが一際目立った。ちなみに、ミラクルズの優勝は、平成３年度と１２年度、１７年度の第２１回大会に続く通算４度目である。

最終日の成績は次の通り。

◆三位決定戦　２月１２日（祝日）　流山ボーイズグランドＢ面

Ｓ	Ｂ	Ｏ	Ｘ	０	１	０	０	０	０	０	①	＝ ２
リトルレジェンス				０	１	０	０	０	０	０	０	＝ １

審判：主審・小林（野田市少年野球連盟）　塁審・加納、渋谷、湯本（各大会役員）

◆決勝戦　２月１１日（祝日）　流山ボーイズグランドＡ面

柏	Ｄ	Ｊ	Ｍ	０	０	０	１	０	０	時間切れ		＝ １
ミ	ラ	ク	ル	ズ	２	１	２	０	０	Ｘ		＝ ５

審判：主審・八木澤（大会役員）　塁審・緑川（柏市少年野球連盟）、藤井（大会役員）、星本（柏市少年野球連盟）



2016 CHAMPION



優　勝　ミラクルズ



準優勝　柏DJM



第三位　SBOX



第四位　リトルレジェンス

熱戦スナップ！





























閉会式



優勝トロフィを受ける秋山選手

優勝旗を受ける渡邊選手



喜びのミラクルズの選手たち



および受賞スナップ！



平成28年2月11日
於：流山ボーイズ グランド



来賓：流山ロータリークラブの諸氏



山田会長と握手



挨拶する流山ロータリークラブ代表














JAGUARS
Dreams
Dreams


BOEING
BOEING


Lions





ブロックリーグ戦　勝敗表

A BLOCK

順位		印西連合	豊上ヤングスターズ	流東ウイングス	オールブラックス	松戸ゴールデンファイターズ	オール吉川	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	印西連合 （印西）		△ 5-5	△ 1-1	○ 5-1	○ 1-0	○ 14-0	5	3	0	2	8	26	7	19
2	豊上ヤングスターズ （柏）	△ 5-5		○ 4-1	△ 2-2	○ 5-0	○ 8-0	5	3	0	2	8	24	8	16
3	流東ウイングス （流山）	△ 1-1	● 1-4		○ 9-5	△ 0-0	○ 12-2	5	2	2	1	6	23	12	11
4	オールブラックス （我孫子）	● 1-5	△ 2-2	● 5-9		○ 7-3	○ 8-0	5	2	2	1	5	23	19	4
5	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）	● 0-1	● 0-5	△ 0-0	● 3-7		○ 5-0	5	1	3	1	3	8	13	△5
6	オール吉川 （吉川）	● 0-14	● 0-8	● 2-12	● 0-8	● 0-5		5	0	5	0	0	2	47	△45

ブロックリーグ戦　勝敗表

B BLOCK

順位		ミラクルズ	松戸J&V	八平レッドスターズ	野田南部	スーパーシャークス	白山キングス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ミラクルズ（流山）		○ 6-2	● 2-3	○ 7-0	○ 8-0	○ 18-4	5	4	1	0	8	41	9	32
2	松戸J&V（松戸）	● 2-6		○ 4-1	○ 4-1	○ 8-0	○ 11-0	5	4	1	0	8	29	8	21
3	八平レッドスターズ（松戸）	○ 3-2	● 1-4		○ 13-0	● 1-3	○ 12-0	5	3	2	0	6	30	9	21
4	野田南部（野田）	● 0-7	● 1-4	● 0-13		○ 8-1	○ 7-0	5	2	3	0	4	16	25	△9
5	スーパーシャークス（柏）	● 0-8	● 0-8	○ 3-1	● 1-8		○ 5-3	5	2	3	0	4	9	28	△19
6	白山キングス（我孫子）	● 4-18	● 0-11	● 0-12	● 0-7	● 3-5		5	0	5	0	0	7	53	△46

ブロックリーグ戦　勝敗表

C BLOCK

順位		SBOX	大橋みどりファイターズ	ダイナマイトスターズ	成田JBC	ヤングドリームス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	SBOX（柏）		○ 9-0	○ 3-1	○ 6-1	○ 4-2	4	4	0	0	8	22	4	18
2	大橋みどりファイターズ（松戸）	● 0-9		△ 2-2	○ 7-3	○ 7-1	4	2	1	1	5	16	15	1
3	ダイナマイトスターズ（野田）	● 1-3	△ 2-2		○ 3-1	● 3-4	4	4	1	2	3	9	10	△1
4	成田J、B、C（成田）	● 1-6	● 3-7	● 1-3		○ 4-3	4	1	3	0	2	9	19	△10
5	ヤングドリームス（松戸）	● 2-4	● 1-7	○ 4-3	● 3-4		4	1	3	0	2	10	18	△8

ブロックリーグ戦　勝敗表

D BLOCK

順位		松飛台メジャーズ	野田ベスト	ツインファイターズ	SBOXスターズ	柏ARD	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松飛台メジャーズ（松戸）		○ 5-1	○ 2-0	○ 7-1	○ 9-1	4	4	0	0	8	23	3	20
2	野田ベスト（野田）	● 1-5		○ 2-0	○ 9-0	○ 7-1	4	3	1	0	6	19	6	13
3	ツインファイターズ（我孫子）	● 0-2	● 0-2		○ 4-0	○ 19-0	4	2	2	0	4	23	4	19
4	SBOXスターズ（柏）	● 1-7	● 0-9	● 0-4		○ 7-3	4	1	3	0	2	8	23	△15
5	柏ARD（柏）	● 1-9	● 1-7	● 0-19	● 3-7		4	0	4	0	0	5	42	△37

ブロックリーグ戦　勝敗表

E BLOCK

順位		流山レイソル	SFソルジャーズ	アドウインクラブ	沼南Snipers	にしくぼフェニックス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	流山レイソル（流山）		○ 4-1	○ 10-0	○ 1-0	○ 17-1	4	4	1	0	8	32	2	30
2	SFソルジャーズ（我孫子）	● 1-4		○ 5-1	○ 2-0	○ 7-1	4	3	2	0	6	15	6	9
3	アドウインクラブ（柏ょ	● 0-10	● 1-5		○ 6-3	○ 8-0	4	3	2	0	6	15	18	△3
4	沼南 Snipers（柏）	● 0-1	● 0-2	● 3-6		○ 11-6	4	1	3	0	2	14	15	△1
5	にしくぼフェニックス（松戸）	● 1-17	● 1-7	● 0-8	● 6-11		4	0	4	0	4	8	43	△35

ブロックリーグ戦　勝敗表

F BLOCK

順位		柏DJM	フレンズ	リトルキング	ファイヤーブレーブス	三郷フレンズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	柏 D J M （柏）		○ 3-1	○ 6-0	○ 2-0	○ 11-1	4	4	0	0	8	22	2	20
2	フ レ ン ズ （柏）	● 1-3		○ 2-0	○ 8-1	● 0-2	4	2	2	0	4	11	6	5
3	リトル キング （我孫子）	● 0-6	● 0-2		△ 3-3	○ 5-0	4	1	2	1	3	8	11	△3
4	ファイヤーブレーブス （流山）	● 0-2	● 1-8	△ 3-3		○ 3-2	4	1	2	1	3	7	15	△8
5	三 郷 フレンズ （三郷）	● 1-11	○ 2-0	● 0-5	● 2-3		4	1	3	0	2	5	19	△14

ブロックリーグ戦　勝敗表

G BLOCK

順位		フォーセブン	柏ウエスタンズ	ジュニアファイターズ	我孫子スワッツ	高塚新田ラークス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	フォーセブン（柏）		○ 3-2	○ 1-0	○ 13-2	△ 4-4	4	3	0	1	7	21	8	13
2	柏ウエスタンズ（柏）	● 2-3		△ 0-0	○ 4-0	○ 10-0	4	2	1	1	5	16	3	13
3	ジュニアファイターズ（流山）	● 0-1	△ 0-0		○ 1-0	○ 10-0	4	2	1	1	5	11	1	10
4	我孫子スワッツ（我孫子）	● 2-13	● 0-4	● 0-1		○ 1-0	4	1	3	0	2	3	18	△15
5	高塚新田ラークス（松戸）	△ 4-4	● 0-10	● 0-10	● 0-1		4	0	3	1	1	4	25	△21

ブロックリーグ戦　勝敗表

H BLOCK

順位		リトルレジェンス	流山マリンベァーズ	松戸FCボーイズ	野田ニュースターズ	ツインパルスG	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	リトルレジェンス（我孫子）		○ 2-1	○ 6-3	● 0-3	○ 6-1	4	3	1	0	6	24	6	18
2	流山マリンベァーズ（流山）	● 1-2		△ 4-4	○ 2-1	○ 5-0	4	2	1	1	5	12	7	5
3	松戸FCボーイズ（松戸）	● 3-6	△ 4-4		○ 7-3	○ 11-7	4	2	1	1	5	25	20	5
4	野田ニュースーズ（野田）	○ 0-3	● 1-2	● 3-7		○ 9-0	4	2	2	0	4	16	9	7
5	ツインパルスG（柏）	● 1-6	● 0-5	● 7-11	● 0-9		4	0	5	0	0	8	31	▽23

ブロックリーグ戦　概評

◆Ａブロック

初参加の印西連合（印西市）と柏市の豊上ジュニァーズがともに負けなしの３勝２引分けの成績で首位を争ったが、順位決定は直接対決では引き分けているだけに、得失点差での決着となった。この結果、印西連合が３点差で首位となった。

この２チームの実力は互角だが、２勝１敗２引分けで３位となった流東ウイングスは、印西連合との引分けは評価できるが、豊上ジュニァーズに敗れたのが痛かった。

◆Ｂブロック

中盤までミラクルズと八平レッドスターズ、松戸Ｊ＆Ｖの３チームが無敗で首位グループを形成していた。このうちミラクルズが八平レッドスターズに敗れてピンチとなり、無敗で突っ走っていた八平レッドスターズと松戸Ｊ＆Ｖが有利となった。しかし、ミラクルズが終盤松戸Ｊ＆Ｖに快勝したことで、他力本願ながら復活の芽が出てきた。そして八平レッドスターズと松戸Ｊ＆Ｖの最終戦で、松戸Ｊ＆Ｖが勝利したことで、ミラクルズと松戸Ｊ＆Ｖが最終的に４勝１敗の同成績となったが、対戦勝者のミラクルズが逆転首位となった。

なお、終盤まで首位グループにいた八平レッドスターズは、松戸Ｊ＆Ｖと下位のスーパーシャークスに敗れて夢（決勝大会進出）破れた。

◆Ｃブロック

ＳＢＯＸが安定した実力を発揮して４戦全勝首位となった。総得点２２点（１試合平均５．５点）と総失点４点（１試合平均１点）が証明する如く、投打のバランスがとれていたのが要因。

２位は２勝１敗１引分けの大橋みどりファイターズだが、ＳＢＯＸ戦の敗戦と下位のダイナマイトスターズ戦の引分けがあっては、所詮決勝大会進出は厳しかった。

３位のダイナマイトスターズ以下は、首位争いとは関係なく星の潰しあいを演じたが、これはそれなりに活気があって良かった。

◆Ｄブロック

松飛台メジャーズが４戦全勝でダントツの首位。同チームはとくに際立った破壊力はないが、総失点３点（１試合平均０．７５点）が示す如く安定したデフェンスがとくに目立った。

２位の野田ベストも堅実な守りで３勝を挙げたが、唯一の敗戦が松飛台メジャーズだったのは痛かった。

３位以下は星一つの差で順位が決定したが、上位２チームと比較すると実力の開きがありすぎた感じ。

◆Ｅブロック

流山レイソルとＳＦソルジャーズのマッチレースで、最終的には流山レイソルがＳＦソルジャーズとの直接対決を制して、４戦全勝で首位となった。ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点３２点（１試合平均８点）と総失点２点（１試合平均０．５点）は好守のバランスの良さを物語っており、とくに総失点２はリーグ戦全体ではＧブロック３位ジュニァファイターズの総失点１点に次ぐ最少記録。

ＳＦソルジャーズは３勝して健闘したものの、流山レイソル戦の敗戦が全てだった。

◆Ｆブロック

柏ＤＪＭの実力が突出していた。４試合での総失点２点（１試合平均０．５点）はＥブロック首位の流山レイソルと並びリーグ全体では２番目に少ない記録だが、内容は好投手に加えて試合運びの巧さが抜群で、この点はリーグ戦全体でもトップクラスだった。

２位フレンズ以下は、首位争いを離れて別次元で星の潰し合いを演じ、それなりに活気があった。全敗チームが無かったのがそれを証明している。

◆Ｇブロック

このブロックはフォーセブン、柏ウエスタンズ、ジュニアファイターズの上位３チームが熾烈な戦いを繰り広げて、Ｂブロックと並び最後まで激戦を展開した。最終的にはフォーセブンが最下位の高塚新田ラークスとは引き分けたが、その他の３戦を勝利して首位を確保した。

柏ウエスタンズとジュニァファイターズは２勝１敗１引分けながら、ともにフォーセブン戦で１点差で惜敗したのが決勝大会進出を逃がした要因で、この１敗が痛恨。

ちなみに、この３チームの実力は、得失点の記録が示す如く、全くの互角と見られる。その中で３位となったジュニァファイターズの４試合での総失点１点は、リーグ戦全体では最少記録。

◆Ｈブロック

このブロックも激戦だった。最終的には３勝１敗のリトルレジェンスが首位となったが、一時は最終的に２勝２敗で４位となった野田ニュースターズまで首位争いのグループにあったほど、展開はもつれた。

結果的に２勝１敗１引分けで２位となった流山マリンベァーズは、同成績の松戸ＦＣボーイズと引き分けたことと、直接的にはともにリトルレジェンスに敗れた１敗が致命傷となった。

逆にリトルレジェンスは、４位の野田ニュースターズに敗れているだけに、流山マリンベァーズか松戸ＦＣボーイズのいずれかに敗れた場合は首位はなかった。

最後までもつれた首位争いだったが、これはそれだけ首位争いを演じた４チームの実力が拮抗していたことを物語っている。

ASA 子どもスポーツ新聞
朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"
毎月30日にASA(朝日新聞販売所)からお届けします
平成28年 3月30日号 No.257
配布／千葉県北西部8市
発行／朝日れすか編集室
〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F
[TEL]04(7143)4021[FAX]04(7143)3453
[URL]http://www.asa-kids.com/

ミラクルズ（流山合同）が優勝

柏流さよなら大会 投げる、打つ、走る、で圧倒

勝	柏DJM	0	0	0	1	0	0	0	1
▽決	ミラクルズ	2	1	2	0	0	×		5

「第32回柏流さよなら大会」の決勝が2月11日(木・祝)、流山ボーイズグラウンドで行われ、ミラクルズ（カージナルス、流山ホークス、流山シャークスの合同チーム）が優勝した。

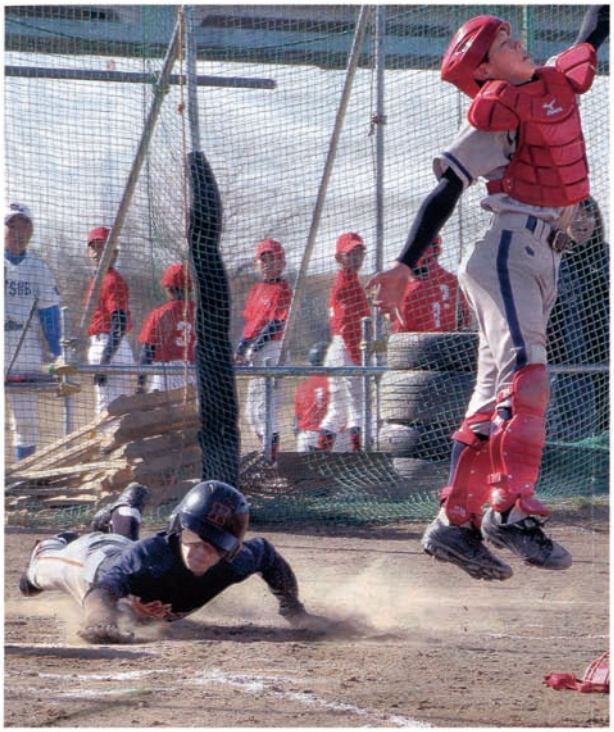
大会には東葛エリアを中心に42チームが参加。8ブロックに分かれて予選リーグを戦い、各ブロックの1位が決勝トーナメントに進んだ。

ミラクルズは決勝で、柏DJM（柏ドリームス、高野台ジャガーズ、松葉ニューセラミックスの合同チーム）と対戦。2回までに3－0とリードしたミラクルズは3回、ノーアウト満塁のチャンスをつかみ、ファーストゴロの間に、3塁走者に続いて2塁走者も生還し、一気に試合を決めた。ミラクルズは先発秋山正雲投手が5回9奪三振と好投、柏打線を封じた。

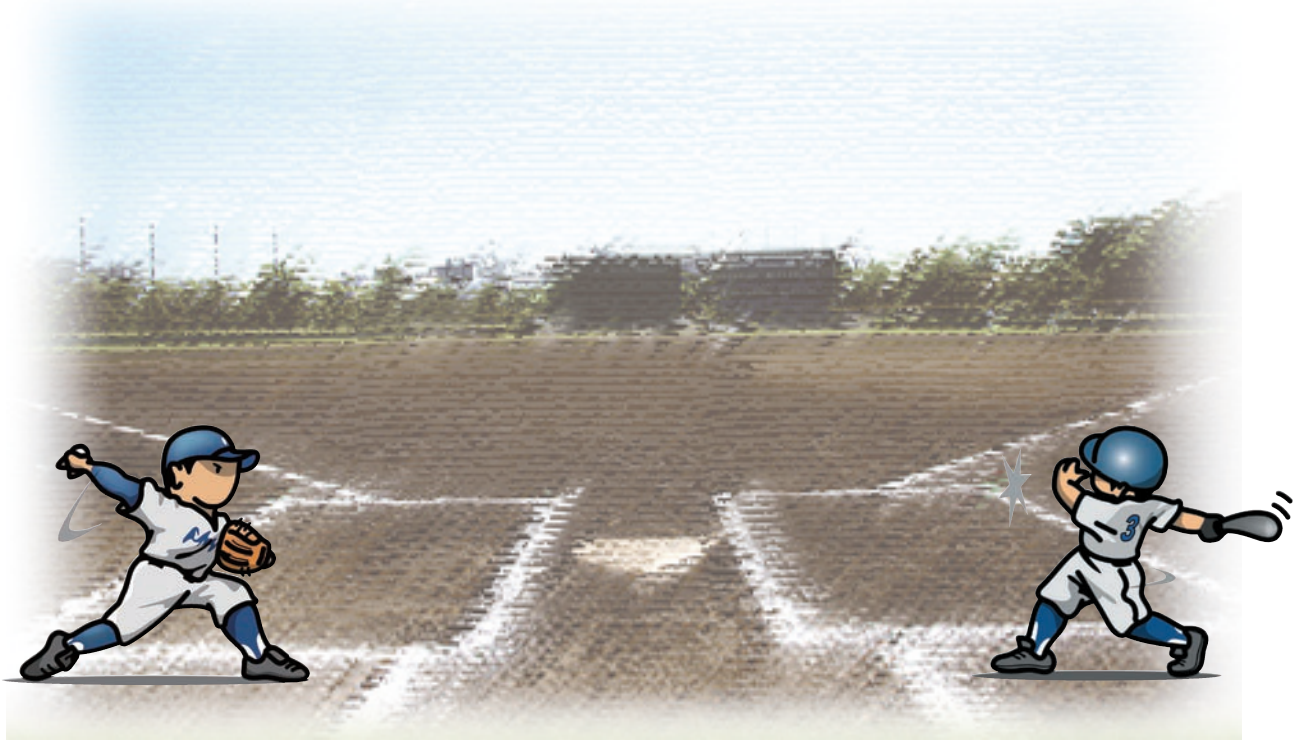
3位決定戦は、SBOX（北柏スーパーナイン、柏ボーイング、大船コンドルズの合同チーム）が勝った。

ミラクルズ 渡邊宣洋監督代行の話

「選手がよく頑張ってくれた。初回から流れに乗れたのが勝因。3回の攻撃も良かった。実力は両チームとも変わらないと思うが、ミスが出なくて勝ちに恵まれた」



決勝、柏DJM対ミラクルズ。3回裏、好走塁で2塁から一気にホームインするミラクルズ末広悠人選手（流山ボーイズグラウンドで）



第32回柏流さよなら大会参加チーム名簿

No	地域	チーム名	単独 合同	構成チーム
1	我孫子	リトルレジェンズ	合同	リトルジャガーズ・リトルイーグルス
2	我孫子	我孫子SWAT15	合同	久寺家エラーズ・湖北台スパローズ・布佐ジャイアンツ・布佐スパイダース
3	我孫子	オールブラックス	合同	ブラックバード・ブラックタイガース
4	我孫子	SFソルジャーズ	合同	サンスパッツ・湖北フレンズ
5	我孫子	白山キングス	合同	白山クラブ・牧の原キングス
6	我孫子	リトルキング	単独	
7	我孫子	ツインファイターズ	合同	新木ファイターズ・木刈ファイターズ
8	印西	印西連合	合同	印旛ブラザーズ・内野シャークス・本埜ジャガーズ・草深ベアーズ
9	成田	成田Ｊ．Ｂ．Ｃ	合同	加良部少年野球クラブ・橋賀台サンダーズ
10	松戸	松戸 J&V	合同	小金原ビクトリー・牧の原ジュニアーズ
11	松戸	にしくぼフェニックス	単独	
12	松戸	高塚新田ラークス	単独	
13	松戸	八平レッドスターズ	合同	八柱サンジュニアーズ・常盤平ボーイズ
14	松戸	松戸FCボーイズ	合同	双葉・セントラルパークス
15	松戸	ヤングドリームス	合同	根木内ヤングスターズ・馬橋ドリームス
16	松戸	松戸ゴールデンファイターズ	合同	野菊野ファイターズ・松戸スラッガーズ
17	松戸	大橋みどりファイターズ	単独	
18	松戸	松飛台メジャーズ	合同	串崎スワローズ・松戸カージナルス・五香メッツ・元山タイガース
19	三郷	三郷フレンズ	合同	友和タイガース・三郷フレンズ・三郷団地ライオンズ・吹上クラブコメッツ
20	柏	沼南snipers	合同	高西エースクラブ・泉ドラゴンZ・大津ヶ丘ファイターズ
21	柏	スーパーシャークス	合同	スーパーフェニックス・光ヶ丘シャークス
22	柏	ツインパルスＧ	合同	新柏ツインズ・柏南ギャランツ・光インパルス
23	柏	アドウィン・クラブ	合同	加賀シャトルズ・柏ビクトリー・藤心ジャガーズ・名戸ヶ谷アトミック
24	柏	柏ＤＪＭ	合同	柏ドリームス・高野台ジャガーズ・松葉ニューセラミックス
25	柏	フォーセブン	合同	豊四季イーグルス・若草・四小地区少年野球クラブ
26	柏	フレンズ	合同	千代田ファイターズ・新栄ファイヤーズ・高田ウィンスターズ
27	柏	SBOX	合同	北柏スーパーナイン・柏ボーイング・大船コンドルズ
28	柏	SBOXスターズ	合同	北柏スーパーナイン・柏ボーイング・大船コンドルズ
29	柏	柏ウェスタンズ	合同	柏リアノス・伊勢原ジャガーズ
30	柏	豊上ヤングスターズ	合同	豊上ジュニアーズ・柏ヤンガーズ
31	柏	柏ＡＲＤ	合同	北柏オールスターズ・北柏レッドファイターズ・ダックス
32	野田	ダイナマイトスターズ	合同	上町パワーズ・中根ヤンキース
33	野田	野田南部	合同	南部ルーキーズ・西新田子ども会・中地ベースボールクラブ・山崎クーガーズ
34	野田	野田ニュースターズ	合同	野田ドンキーズ・野田シャイニング・関宿バッファローズ
35	野田	野田Ｂｅｓｔ	合同	清水タイガース・野田ロッキーズ・柳沢イーグルス
36	吉川	オール吉川	合同	吉川旭ファイターズ・吉川ドリームズ
37	流山	流山マリンベアーズ	合同	流山マリーンズ・加岸ベアーズ
38	流山	ミラクルズ	合同	カージナルス・流山ホークス・流山シャークス
39	流山	ジュニアファイターズ	合同	南流ファイターズ・鰭ヶ崎ジュニアフィンズ
40	流山	流東ウィングス	合同	前ヶ崎クラブ・ありんこアントス・向小金ファイターズ
41	流山	ファイヤーブレーブス	合同	長崎FLB・八木南クラブ
42	流山	流山レイソル	合同	東深井ボーイズ・江戸川台フェニックス・小田急ライオンズ・初石クーガース

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優勝	準優勝	第三位
1	1985 昭和60年	15	柏友ジャニーズ （柏）	カージナルス （流山）	黒葉留民図 （柏）
2	1986 昭和61年	24	タイタンズ （流山）	八木北オールスターズ （流山）	柏友トライスター（柏） 西原アローズ（柏）
3	1987 昭和62年	20	柏ライナーズ （柏）	中新宿ウィングス （柏）	千代田ファイターズ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
4	1988 昭和63年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷アトミック （柏）	四小+柏友（柏） 八木北小A（柏）
5	1989 平成元年	18	柏友ジャニーズ （柏）	宮園イーグレッツ （流山）	千代田ファイターズ（柏） つくしアトミック（柏）
6	1990 平成2年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷ファイブス （柏）	豊四季イーグルス（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
7	1991 平成3年	20	流山ミラクルズA （流山）	伊勢原ジャガーズ （柏）	増尾クラブ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
8	1992 平成4年	20	南流クラブ （流山）	ありんこアントス （流山）	増尾クラブ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
9	1993 平成5年	20	トライスター （柏）	八木南クラブ （流山）	千代田ファイターズ（柏） 加岸&西平井パワーズ（流山）
10	1994 平成6年	20	高野台ジャガーズ （柏）	柏フェアB （柏）	増尾オールスターズ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
11	1995 平成7年	28	新松戸スターズ （松戸）	流山ミラクルズA （流山）	オール長崎（流山） サクセス（流山）
12	1996 平成8年	21	流山レイソル （流山）	三小クラブ （柏）	流山ミラクルズA（流山） 新松戸スターズ（松戸）
13	1997 平成9年	19	柏ボーイング& トライスター（柏）	流山ミラクルズA （流山）	三小クラブ（柏） 柏ドリームス（柏）
14	1998 平成10年	21	向小金ファイターズ （流山）	スーパースターズA （流山）	清水タイガース（野田） 流東クラブ（流山）
15	1999 平成11年	20	松葉ニューセラミックス （柏）	千代田ファイターズ （柏）	ミラクルズ（流山） 小金原ビクトリー（松戸）
16	2000 平成12年	24	ミラクルズ （流山）	長崎FLB （流山）	清水タイガース（野田） 流山レイソル（流山）
17	2001 平成13年	22	流山レイソル （流山）	南流ファイターズ （流山）	リトルベアーズ（松戸） 小金原ビクトリー（松戸）
18	2002 平成14年	35	松葉ニューセラミックス （柏）	流山レイソル （流山）	グッバイスワローズ（松戸） ミラクルズ（流山）
19	2003 平成15年	37	ファイヤーブレーブス （流山）	高野台ジャガーズ （柏）	スカイヤーズ （松戸）
20	2004 平成16年	42	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	高野台ファイターズ （柏）
21	2005 平成17年	39	ミラクルズ （流山）	増尾オールスターズ （柏）	にしくぼフェニックス （松戸）
22	2006 平成18年	42	グレイトレイソル （流山）	中松ボンバーズ （我孫子）	フォーセブン （柏）
23	2007 平成19年	46	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	JTBスターズ （柏）
24	2008 平成20年	57	マリンベアーズ （流山）	大津が丘ファイターズ （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
25	2009 平成21年	51	松飛台メジャーズ （松戸）	ニューメジャーズ （松戸）	ヤングスターズ （松戸）
26	2010 平成22年	59	小金原ビクトリー （松戸）	BDスターズ （野田）	アドウィンクラブ（柏） フレンズ（柏）
27	2011 平成23年	64	フレンズ （柏）	ブラックホークス （我孫子）	常盤平ボーイズ （松戸）
28	2012 平成24年	58	流山マリンベアーズ （流山）	松葉ドリームス （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
29	2013 平成25年	58	増尾オールスターズ （柏）	フレンズ （柏）	松戸J&V （松戸）
30	2014 平成26年	49	松戸スターズ （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	野田南部Y （野田）
31	2015 平成27年	49	加岸ジュニアファイターズ （流山）	JCミックス （柏）	増尾オールスターズ （柏）
32	2016 平成28年	42	ミラクルズ （流山）	柏DJM （柏）	SBOX （柏）

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ

昭和６０年に柏市内北部の柏友ジャニーズ、四小地区少年野球クラブと、同東部地区の黒葉留民図、流山市のカージナルスほか流山北部地区のチームが中心となって、６年生だけ出場の大会としてスタート。

初年度は出場チームも少なく、３ブロックのリーグ戦により、決勝戦はブロック１位チーム同士の総当たり制としたが、二年目から出場チームが増加したことで、以降４ブロックによるリーグ戦制に改めてこの方法を定着させた。同時に、決勝大会は各ブロック１位チームによりトーナメント戦で優勝を決め、三位決定戦は行わず同成績としてこの方法を継続して来たが、平成１５年の第１９回大会から三位決定戦を設定した。

大会名は、当初出場チームが柏市と流山市だけだったことから、両市の頭文字をとって「柏流」とし、さらに６年生にとっては野球が出来るのが時期的にも最後となることから、「さよなら」を後につけて「柏流さよならリーグ少年野球大会」とした。なお、出場資格を６年生だけに限定したことは、開催時期が新メンバー（５年生以下）の研修大会であるカリフ・ＳＧ旗争奪少年野球大会と重なることが最大要因。また、各市では秋季大会が終了した後で、時期的にも６年生だけの単独チームは編成が難しいことから、４チームまでの混成が可能で、人数が多い場合は２チーム以上での出場が認められるのも特徴。

さらに開催期間が１１月下旬から翌年３月上旬までの寒い時期に加え、天候及びグランドコンデションや確保面でもハンディがあること、指導者が他の大会と掛け持ちなどの理由から開会式は行わず、グランド確保、日程編成及び運営も全て各ブロックの当該チームに一任して来た。そして、決勝大会についても当初は当該チーム同士でグランド、日時を決めて行い、表彰式（閉会式）についても当該チームによる自主運営としてきた。

大会の定着にともない、平成６年以降に松戸市と野田市からの出場チームがあり、さらに平成１４年には我孫子市と三郷市から、そして近年はつくば市、成田市、吉川市、東京葛飾からも出場チームがあった。

ちなみに、当大会は平成１１年にボーイズリーグ・流山クラブ（現流山ボーイズ）のグランド（当時流山市東深井）を使用して初めて開会式を開催したが、これを機に平成１２年度から大会の正式な組織（柏流さよならリーグ少年野球大会運営委員会）が結成された。ともない以降の大会開催日を毎年初日は１月の成人の日（祝日）とし、決勝大会も２月初旬から３月上旬迄に決めて、最終日は流山ボーイズのグランドで開催することも決まった。

当大会の後援は、発足当初は使用球が昭和ゴム株式会社のＳＧボールであったが、同社が平成１５度一杯で軟式ボールの生産から撤退したため、代わって新たにダイワマルエス株式会社が後援となった。また、平成１２年度から上記のボーイズリーグ・流山ボーイズが加わり、さらに写真撮影の共同写真企画も平成１４年度から正式に加わった

大会名も従来の「柏流さよならリーグ少年野球大会」から、平成１５年度に現在の「柏流さよなら少年野球大会」に改称した。

柏流さよなら少年野球大会開催要項（平成２６年１ 月一部改正）

大　会　名　　柏流さよなら少年野球大会

主催・主管　　柏流さよなら少年野球大会運営委員会

後　　援　　ダイワマルエス株式会社　株式会社共同写真企画　朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）　流山ロータリークラブ

開催期間　　毎年１月成人の日（祝日）を初日として、同日流山ボーイズのグランドにて開会式を行い、以降２月一杯までをブロックリーグ戦（グランドは当該チームのグランド）に当てる。なお、ブロックリーグ戦は近年出場チームが各種大会と競合するケースが多いので、抽選会終了後開会式を待たずに早めに始めても良い。
決勝大会は、各ブロックの首位チームによりトーナメント方式で行なう。同大会の開催日は、原則として２月中旬から下旬とし、最終日（三位決定戦・決勝戦）は全て流山ボーイズのグランドに於いて行なう。

参加チーム　　地域は原則として東葛地区を対象とするが『友軍』チームの出場も可。

出場資格　　全て６年生のみ。単独チームで出場出来ない場合は、４チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで２チームの出場も可。
出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。但し、監督はリボンの装着を義務付ける。

試合方法　　①参加チームを数ブロックに分けてそれぞれ総当りリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。なお、順位の決定は勝点制とし、勝利が２点、引き分け１点、敗戦０点とし、勝ち点の最も多いチームを上位とする。

②リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

③全試合７回または時間（シートノックを除き１時間４５分）制で、リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、決勝大会の準決勝戦と三位決定戦のみコールドゲーム（３回以降１０点差、５回以降７点差）の適用がある。

④７回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし、延長戦は行なわない。但し、決勝大会に限っては特別ルール（一死満塁で継続打者）の適用（但し、延長は２回までででそれ以降は

抽選）がある。

⑤投手の投球規定回数は一試合５回（１５アウト）、一日１０回（３０アウト）までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

⑥柏流さよなら少年野球大会の特別ルール

１．６年生最後の大会なので、控え選手の出場機会を出来るだけ多くする。そのために、次の特別ルールを適用する。

２．投手以外の**「指名打者」２名を必ず出場させる。**メンバーが足りない場合はこの限りではないが、ベンチに選手がいる場合は指名打者は必ず出場させなければならない。なお、指名打者は守備につけても良い。

⑦その他のグランドルールは、当該グランドの特別ルールを適用する。

審判当番　リーグ戦については各ブロック内で話合って決定する。決勝大会については原則として役員が担当するが、出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時にリーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２

小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。

試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。

リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。なお、**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は０－１０）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明して徹底させて下さい。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会　　費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表　　彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞と、個人賞は流山ボーイズから。他に流山ロータリークラブからの協賛もあり。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参してください。団旗の持込も歓迎します。

柏流さよなら少年野球大会役員（H28/1 改選）

会長	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	青木誠	野田市少年野球連盟会長
〃	金丸正孝	柏市少年野球連盟会長
〃	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務		
事業部長(事務局総括)	小泉博康	
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
審判部部長	松本秀樹	
審判部副部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
〃	＊川口裕司	松戸市少年野球連盟役員
運営委員（事業部担当）		
〃	豊田穣	流山市少年野球連盟役員
〃	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
〃	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
〃	＊八鍬昌次	
〃・監査役兼務	今野正博	野田市少年野球連盟役員
運営委員（審判部担当）		
〃	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
〃	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
〃	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
〃	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
〃	岡野誉	野田市少年野球連盟役員
〃	湯本秀次	野田市少年野球連盟役員
〃	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
〃	八木澤巌	柏市少年野球連盟役員
〃	吉田繁	柏市少年野球連盟役員
〃	濱田健	柏市・松葉ニューセラミックス
〃	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
〃	居倉諭	松戸市少年野球連盟役員
〃	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス（株）東京営業所長
〃	新佐古公人	流山ボーイズ会長兼総監督

（注）＊印は非常勤

第３２回　柏流さよなら大会　会計報告

◆収入の部

大会参加費	＠５０００×４２チーム＝	￥２１０，０００
第31回大会　繰越金		￥１８５，１９１
ボール販売手数料		￥　　４，０００
(平成27年9月　東葛親睦大会を補填)		▲　￥８０，０００

収入合計　３１１，１９１円

◆支出の部

抽選会会場費	￥６，４８０
資料作成(コピー代)	￥１，６５０
グランド使用料	￥１４，１００
参加賞用ボール	￥４３，２００
賞状代	￥１０，０００
トロフィー代	￥２０，５６９
冊子データ作成費	￥８０，０００
編集費（冊子作成）	￥２０，０００
（編集費）	￥１０，０００
事務局経費(打合せ補助費)	￥１１，１３２
審判員昼食代	￥１０，２５０

支出合計　２２７，３８１円

◎寄贈品

＊㈱ダイワマルエスボール　４ダース
＊流山ロータリークラブ　メダル・トロフィー
＊流山クラブ　副賞多数

※収入　311,191円－支出　２２７,381円＝　８３,810円　は、第３３回大会へ繰り越します。

会計担当　　平田　宗久

平田会計担当から提示されました、平成28年度柏流さよなら大会の会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。

平成28年2月17日　会計監査担当　今野　正博

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!



●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西

ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX **04-7197-0115**

流山クラブボーイズ　中学部

公益財団法人
日本少年野球連盟 BOYS LEAGUE



新入部員募集!!

流山クラブボーイズ中学部には毎年、各地域の少年野球連盟から
多くの少年達が入部し活躍を続けています。
そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手も多く 、
プロ野球選手になった先輩もいます。
流山クラブボーイズ中学部では 、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ 、
一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。
皆さん是非一度、流山クラブボーイズ に見学・体験にお越し下さい。

主な進学校

習志野高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
木更津総合高校	市立柏高校	安田学園高校
東葛飾高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
浦和学院高校	県立柏高校	東洋大付属牛久高校
我孫子高校	帝京高校	流経大付属柏高校
春日部共栄高校	二松学舎沼南高校	常総学院高校
柏陵高校	日大豊山高校	拓大付属紅陵高校
西望学園高校	市川学園高校	他
市立船橋高校	関東第一高校	

主な戦績

◆全国春季大会	出場12回	
◆全国選手権大会	出場12回	ベスト4=2回
◆ジャイアンツカップ	出場 3回	ベスト8=1回
◆関東大会	出場18回	準優勝1回・ベスト4=3回
◆東日本大会	出場16回	優　勝1回・準優勝1回
◆関東ボーイズリーグ大会		第一回大会から連続参加中
		準優勝１回・ベスト4=3回

中学部　連絡先

総監督　新佐古 公人
監　督　猪狩 貴範　090-6159-4373
1年担当コーチ　山崎　衛　090-4726-8228

http://nagareyama-club.webnode.jp/

流山市
江戸川河川敷グランドH面にて、
練習しています。

※試合でいない場合もありますので、確認をとってください。

見学・体験
大歓迎!!



